

京都大学医学部附属病院

輸血細胞治療部セミナーの御案内

輸血細胞治療部では以下の要領でセミナーを開催します。

皆様の御来聴を歓迎します。

Novel Oncogenic Signaling by MLL Related Leukemogenic Proteins

Dr. Gang Huang

Assistant Professor

Division of Experimental Hematology & Cancer Biology,

Cincinnati Children's Hospital Medical Center

Cincinnati, Ohio, USA

【日 時】 平成 22 年 7 月 14 日 (水曜日)
17 時 00 分 ~ 18 時 00 分
【場 所】 京都大学医学部 A 棟1階 103号室

染色体 11q23 に存在する MLL (mixed lineage leukemia) 遺伝子はショウジョウバエで trithorax として知られている methyltransferase の一種である。染色体転座を含むさまざまな MLL 遺伝子の異常が急性白血病で高頻度に見出されるが、白血病発症における MLL 遺伝子の機能については十分解明されていない。一方、成体型造血の発生に必須とされる Runx1 (AML1) /CBFbeta 転写因子複合体はその機能低下が白血病発症に関ることが知られている。Gang Huang 博士は Runx1 の研究でこれまでに数多くの重要な知見を報告しており、本講演では MLL 遺伝子と Runx1/CBFbeta 転写因子複合体の関連について研究した結果、明らかとなった新たな白血病発症モデルについて紹介していただく。

問合せ先

輸血細胞治療部・平位秀世

075-751-4236 / 3630

hhirai@kuhp.kyoto-u.ac.jp